

バリアフリーと
何が違うの？



みんなにやさしいデザイン

ユニバーサルデザイン (UD)

って何だろう？

「ユニバーサル」とは「**すべて**に共通の」「普遍的な」という意味で、「ユニバーサルデザイン」を日本語に言い換えると、「**すべての人のためのデザイン**」「**みんなにやさしいデザイン**」という意味になります。

「バリアフリー」とは、高齢者・障がい者らが生活していく上で障壁（バリア）となるものを取り除く（フリー）ことで、バリアフリーは、バリアを見つけるたびに、それを取り除くような取り組みをしていくことになります。

できるだけ**多く**の人が使いやすいデザインをはじめから考えることが必要と考え、ユニバーサルデザインの考え方が広まってきました。1990年代になると、日本にもその考え方が徐々に取り入れられ、広まってきました。

ユニバーサルデザインをもっとやさしく言い換えると、「最初から**みんな**にやさしいデザインを考えること」となります。

障がいの有無・年齢・性別・国籍の違いをはじめ、怪我をして一時的に車椅子に乗る人や、子育てのためにベビーカーを利用している人など、様々な人が利用しやすいようにデザインすることがユニバーサルデザインです。

つまり広い視野で見れば、「バリアフリー」は「ユニバーサルデザイン」の一部と言えます。

【ユニバーサルデザインの7原則】

- (1) **誰にでも**公平に利用できること
- (2) 利用する上で自由度が高いこと
- (3) 使い方が簡単で分かりやすいこと
- (4) 必要な情報が理解しやすいこと
- (5) ちょっとしたミスが危険につながらないデザインであること
- (6) 身体への負担が少なく、力がなくても楽に使用できること
- (7) **誰にでも**使える十分な広さと大きさがあること



身近にあるユニバーサルデザインの具体例

どのようなところにユニバーサルデザインは使われているの？



<センサー式蛇口>



センサー式蛇口は、握力の弱い人や手に障害がある人も無理なく利用する事ができます。特に公共のトイレでは、蛇口に触れずに手を洗えるので衛生的です。

<幅の広い改札>

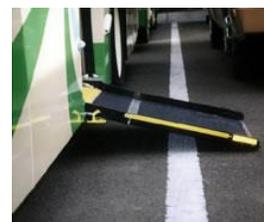
改札が広ければ、車椅子・松葉杖・ベビーカーを利用している人から旅行者で荷物がたくさんある人まで誰もが余裕を持って通過することができます。



<ノンステップバス>



新潟市西区区バス



ノンステップバスとは、床面を超低床構造にして乗降ステップをほとんど無くしたバスのこと。これにより、高齢者や小さな子供でも乗り降りが簡単になります。さらに補助スロープを使えば、車椅子での乗降も可能です。

<ピクトグラム>



「非常口」「禁煙」マークなどの標識のピクトグラムは、誰が見てもわかるようにデザインされています。車椅子のマークや、多目的トイレなど、街を歩けば至るところで目にすることができます。

<UDフォント>

非UDフォント

OCG3869
OCG3869

UDフォント

OCG3869
OCG3869

文字が小さくなくても、似た形の文字（0とC・3と8・6と9）がとても区別しやすくなっています。

他にもユニバーサルデザインは、日用品から食品まで多くのものがあります。新潟大学にも設置されている自動センサー式検温・消毒スタンドもそのひとつです。

「こんなところにも!？」と思うところにもユニバーサルデザインはあります。普段何気なく使っているものもユニバーサルデザインの視点で見ると新しい発見があるかもしれません。

新潟大学には、ユニバーサルデザインマップがあります。

新潟大学五十嵐キャンパス ユニバーサルデザインマップ

(ホーム > 大学案内 > キャンパスマップ > キャンパスマップ > 五十嵐キャンパス)



新潟大学旭町キャンパス ユニバーサルデザインマップ

(ホーム > 大学案内 > キャンパスマップ > キャンパスマップ > 旭町キャンパス)

学びのユニバーサルデザイン (UDL: Universal Design for Learning)

ユニバーサルデザインの考え方は、教育の現場でも浸透してきています。

障がいの有無にかかわらず、**すべて**の学習者の学びを助け、学習者自身が学びのエキスパートになれるように支援するための概念フレームワークです。UDLは、インクルーシブ教育の枠組み。これは、学習への障壁を低くし、各個人の学習機会を最適化することを目的としています。

『こころのユニバーサルデザイン』

~困っている人に気づくこと、声をかけることから始まります~

ユニバーサルデザインは、形あるものだけをさしているではありません。

ユニバーサルデザインによるハード面の整備などがされていても、利用する人や周りの人に「こころのユニバーサルデザイン(相手の立場に立って思いやりある行動ができる)」の意識がなければ、その快適性や安全性が損なわれてしまう場合があります。「こころのユニバーサルデザイン」はユニバーサルデザインの取組が社会で機能するための基盤であり、時には不便さを補うこともできる重要な役割を担っています。



特別修学サポートルームでは、障がい(発達・精神・身体等)があり、修学を中心に大学生活の中での様々な困難を抱えている学生のサポートをします。一人で悩まず、何でも相談にきてください。(下記に電話かメールでご連絡ください。)



特別修学サポートルーム

総合教育研究棟

☎ : 025-262-6300

(平日9:00~17:00)

✉ : support-r@ge.niigata-u.ac.jp